

## 2025 年度

### 二チイキッズ飯山保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月13日（火）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し、寄り添うことを大切に。「おもいっきり」を意識しながら保育計画を立案し、実践していく中で子どもの育ちを大切に。
子どもの発達援助	一人ひとりの発達を理解した上で、適切な援助や言葉かけができるように職員間での話し合いを多く持つようにした。専門家とも連携して知識を深め、発達を促す遊びや関りを取り入れた。
保護者に対する支援	日々の送迎時や連絡帳で、担任だけでなく園全体で子どもの姿を丁寧に伝え、子どもの育ちを共に喜び合う事を意識して信頼関係を築けるようにした。また、保護者参加型の行事を通して、保育者と保護者間の交流もできるように取り組んだ。
保育を支える組織的基盤	子どもの最善の利益を大切にされた保育が行えるように個人の振り返りや全体のディスカッションで話し合う機会を多く持ち、一人ひとりの意識向上に努めた。今後も知識を深め、子どもの最善の利益を大切にされた専門家として自覚をもった保育を行えるように一人ひとりが自己研鑽に努めて、施設全体の保育の質を上げていけるようにしたい。

総評
子どもの最善の利益を第一に考え、一人ひとりの気持ちを受け止め、寄り添った保育を大切にする事で、愛着関係をしっかりと築き、自己肯定感を育む事へ繋がられるようにした。そして、子どもに対しての言葉かけが適切に行えているか、発達に沿った保育が行えているかなど、日々の保育の振り返りやディスカッションを行う事で、自己研鑽や意識向上に努めてきた。引き続き一人ひとりの最善の利益を大切に考えた保育が行えるよう、職員間の連携を密に行い、子どもたちが自分の思いを表現したり、思いっきり遊ぶことができる環境を整え、安心して過ごせるようにしていく。また、保護者との連携も大切に行い、信頼関係を深めていきたい。